

対象年度	令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム設置事業					予算事業名	ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム整備
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分
			03	01	04	2021	経常経費
総合計画体系	1ともに支えあい，安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)					事業の区分	主要事業
	1-4ゆとりをもって暮らせる高齢者福祉の充実(高齢者福祉)						担当課係等
	②地域包括ケアシステムの構築					長寿支援係	
4ひとり暮らし高齢者などの見守り体制の整備							
事業期間	継続 (年度～令和 5年度)						
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】				【事業開始のきっかけや他市の状況など】			
ひとり暮らし高齢者等の突発的な災害，急病，事故等の緊急事態に対する不安を解消し，安心して暮らせる環境をつくる							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】				【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】			
対象者に対し，ガス，火災センサー付きの通報装置を設置し，火災時や体調不良時など緊急時に迅速な救援・救護を行う。				在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯で世帯員のいずれかが要介護4，5相当の認定を受けている世帯			
				【事業をとりまく環境の変化】 高齢化に伴い，ひとり暮らしや高齢者のみ世帯も増加傾向にある。緊急時にはひとりであること，高齢者のみであることが予想されるため，迅速に救援するために非常に有効な事業である。			
【令和 3年度 事業内容】			【令和 4年度 事業内容】			【令和 5年度 事業内容】	
高齢者単身又は高齢者世帯に対して，緊急通報装置を貸与することにより，突発的な災害，急病事故等の緊急事態に対する不安を解消するため，継続実施。			高齢者単身又は高齢者世帯に対して，緊急通報装置を貸与することにより，突発的な災害，急病事故等の緊急事態に対する不安を解消するため，継続実施。			高齢者単身又は高齢者世帯に対して，緊急通報装置を貸与することにより，突発的な災害，急病事故等の緊急事態に対する不安を解消するため，継続実施。	

■事業費

		R01年度	R02年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	0	0			
	県 支 出 金	0	0			
	地 方 債	0	0			
	そ の 他	794	951			
	一 般 財 源	5,213	9,786			
歳 入 計 (千 円)		6,007	10,737			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	10 需用費	0	37			
	11 役務費	3	6			
	12 委託料	3,586	5,169			
	17 備品購入費	2,418	5,525			
歳 出 計 (千 円) (A)		6,007	10,737			
伸 び 率 (%)			78.74			
備 考	総合計画62ページ 予算書77ページ					

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動指標	緊急通報装置設置台数	台	目標	31.00	27.00	27.00
	高齢者が在宅で安心して生活するため、緊急通報装置貸与を行う		実績	13.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	緊急通報装置利用台数	台	目標	396.00	360.00	360.00
	高齢者が在宅で安心して生活するため、緊急通報装置貸与を行う		実績	305.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	独居高齢者宅に消防本部と直結している通報装置を設置貸与し、緊急事態に備える本事業は、在宅で生活する高齢者やその家族の不安解消につながることから必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	近年は民間事業者（通報先は民間警備会社）が参入している現状もあるが、本事業は緊急時に消防車両が出勤できる通報体制が整っており、直営での実施は妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	独居高齢者宅に消防本部と直結している通報装置を設置貸与し、緊急事態に備える手段は妥当であると考えられる。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	万が一の緊急事態に備える装置の設置貸与であるため。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	設置条件が決められているため、受益者の偏りはない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	利用者の高齢による判断能力の低下に伴い、機器の使用方法等を忘れてしまうケースや認知症により頻回に通報をしてしまう事例がみられる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	新規設置に関しては、利用申請のあった者から順次設置をしており、待機者はいない状態である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
在宅高齢者やその家族の緊急事態に対する不安解消につながっている。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
在宅高齢者やその家族の緊急事態に対する不安解消のため、現状を維持して実施していく。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容</p> <p>ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯が増加している中で、在宅高齢者の緊急事態に対する不安解消に寄与している事業である。高齢者の通信環境が変化していることや民間企業による多様なサービスが参入している現状を考慮し、直営による事業継続について検討の必要がある。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>